

## 私学助成制度の改革の具体像

改革の方向性		改革の具体像
持続可能性	明確な予算総額の根拠の設定	予算総額を理論的に説明できる明確な積算の根拠がある制度。
	アカウントビリティの確立	予算積算方法と補助金配分方法とに整合性があり、制度全体としてわかりやすい制度であり、補助金の配分方法が教職員人件費や教育管理経費等の経常的経費に直接連動している制度。
公平	一定の経営水準の保障	学校ごとの教職員人件費や教育管理経費等の経常的経費に応じて、一定の助成をする制度。
	合理的根拠に基づく客観的・統一的なルールの確立	合理的な根拠に基づき、客観的・統一的な基準や指標等で予算積算や補助金配分ができる制度。
活力	自助努力の促進	自助努力が一層促進されるよう、各学校において収支計画が容易に立てられる簡素な制度。
	特色教育の促進	特色教育の充実が効果的に図られるよう、政策的補助が経常費補助と区別された制度。
簡素	制度フレームの単純化	予算積算と補助金配分の方法が同じで、経常的経費との関連性を有し、政策的補助が区別された単純な制度。
	政策目的に応じた制度の再構築	経常費補助と政策的補助が区別された制度。
	透明性の向上	予算の積算根拠が明確で、経常的経費との関連性を有し、わかりやすい制度。

## 具体像からみた経常費補助金の算出方法の評価

区分	経常費補助金の算出方法	
	現行方式	標準的運営費方式
持 続 可 能 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少子化に伴う生徒数の減少が予算総額に直接影響する。</li> <li>・ 経常的経費との関連性が必ずしも明確でない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 標準的な運営費を算定して助成するため、生徒数の減少による予算総額への影響が比較的少ない。</li> <li>・ 理論的に経常的経費を算出することが可能。</li> </ul>
公 平	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経常的経費との関連性が必ずしも明確でない。</li> </ul> <p style="margin-left: 20px;">〔 定員超過の状況や生徒納付金の状況を補助金配分要素として設定。 〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理論的に経常的経費を算出することが可能。</li> </ul>
活 力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各学校において補助金配分額の算出が困難。</li> </ul>	<p style="margin-left: 20px;">〔 県のイニシアティブによる政策目的に応じた補助を、別途再構築。 〕</p>
簡 素	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補助金配分方法が複雑でわかりにくく、按分方式のため各学校において算出が困難。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒数等により理論的に算出することが可能であり、各学校において算出が可能。</li> </ul>